第26回　文学館演習　―日本近代文学資料の探索と処理―　2024年度募集要項・スケジュール表

日　時　２０２４年８月２０日（火）　～　２４日（土）の５日間　各日　午前１０：００～午後５：１５（但し初日は変則的な時間割となります。）
※単位とする場合、１日４コマ(1コマ90分)計２０コマ(30時間)・２単位。評価はレポート、実習などによります。

受講料　２０，９００円（当館維持会会員・友の会会員は１８，８００円）

定　員　３０名

申込方法　**（１）博物館実習としない方**（抽選制。２０２４年５月１日～３日まで受付ます。）
ホームページの申込フォームよりお申込ください。なお、**日本近代文学等の単位**とする方は、その単位名を明記してください。
受入れの可否は５月４日以降メールでお知らせいたします。

これまで、学習院大学大学院、埼玉大学大学院、成城大学大学院、日本女子大学大学院、梅光学院大学大学院、福岡女子大学大学院、佛教大学大学院、武蔵大学大学院…等で単位認定を受けています

（２）博物館実習とする方（抽選制。２０２４年４月１日～１５日まで受付ます。）
２０２４年４月１日～１５日までに（必着）にホームページの申込フォームよりお申込ください。
受入れの可否は４月１６日以降メールでお知らせいたします。

ご注意　申込後に自動返信メールが届かない場合は申込ができておりません。その場合はお電話でお問い合わせください。

問合先　℡. ０３（３４６８）－４１８１　〒153-0041　目黒区駒場４－３－５５　日本近代文学館「文学館演習」係

内容・講師

	１時限(10:00～11:30)	２時限(11:45～13:15)	３時限(14:00～15:30)	４時限(15:45～17:15)
20日(火)	＜総論＞ (1)オリエンテーション ★10:00~10:40 (2)近代文学館とは ★10:50~11:50 中島国彦(館理事長)	＜総論＞★12:00～13:10 日本近代文学館の所蔵資料とその意義 安藤宏(東京大学教授)	＜資料の収集と活用＞ 資料を活用する研究法(講義･演習) (1)図書 紅野謙介(近代文学研究者)	＜資料の収集と活用＞ 資料を活用する研究法(講義･演習) (2)自筆資料 渡部麻実(日本女子大学教授)
21日(水)	＜資料の収集と活用＞ 資料を活用する研究法(講義･演習) (3)雑誌 大原祐治(実践女子大学教授)	＜資料の収集と活用＞ 図書・雑誌の利用①(実習) (事務局)	＜資料の収集と活用＞ 図書・雑誌の利用②(実習) (事務局)	＜文学の周辺(1)＞ 文学と映画(講義･演習) 石田仁志(東洋大学教授)
22日(木)	＜資料の収集と活用＞ 資料を活用する研究法(講義･演習) (4)新聞 山田俊治(横浜市立大学名誉教授)	＜文学をめぐる問題＞ 海外における日本文学の研究(講義･演習) 和田博文(東京女子大学特任教授)	＜資料の保存・公開・展観＞ 資料の公開・展示(実習) (事務局)	＜文学をめぐる問題＞ 文学と大衆 (講義･演習) 宮内淳子(近代文学研究者)
23日(金)	＜資料の保存・公開・展観＞ 資料の公開・図録(実習) (事務局)	＜資料の収集と活用＞ 挿絵・写真資料の調査・保存(実習) (事務局)	＜資料の保存・公開・展観＞ 資料の保存・修理(実習) (事務局)	＜文学の周辺(1)＞ 出版メディアの戦略・検閲(講義･演習) 五味渕典嗣(早稲田大学教授)
24日(土)	＜資料の収集と活用＞ 肉筆資料の解読(実習) (事務局)	＜文学の周辺(2)＞ 挿絵・口絵と文学 (講義･演習) 出口智之(東京大学准教授)	＜文学の周辺(2)＞ 文学と美術・音楽(講義･演習) 中島国彦(館理事長)	＜総括＞ 日本近代文学館に対する要望(質疑応答) 中島国彦、安藤宏、事務局

2024.2.14